

「ぼけ」でも安心して暮らせる社会を
 もっと知ろう もっと語ろう 認知症

付録 ぼ～れ
 ぼ～れ

290 号 家族だより
 (2023 年 11 月)

広島県支部版

Pole-pole(スワヒリ語)=ゆっくり、やさしく、おだやかに



もくじ

世界アルツハイマーデー記念講演会	2
全国研究集会【ポスターセッション】	4
介護セミナー【アンケートまとめ】	5
山中氏講演会・陽溜まりの会西部	6
陽溜まりの会広島・東部	7
出前定例講演会報告・事務局活動報告	8
各地家族の会・つどいのご案内	9

《～もっと知ろう もっと語ろう 認知症～》

日時 令和5年12月3日(日) 13:00～16:00 第42回家族の会大会・講演会
 場所 広島市総合福祉センター(ビッグフロントひろしま5階ホール) [広島市南区松原町5-1]

- 講演 1 「認知症を学ぶ ～基本とアップデート～」 13:10～
 講師：丸山 博文 氏 (広島大学 副学長・広島大学大学院 医系科学研究科長・
 脳神経内科教授・家族の会広島県支部 顧問)
- 講演 2 「認知症と共に生きる社会をめざして」 14:20～
 講師：石井 伸弥 氏 (広島大学大学院 医系科学研究科 共生社会医学講座 特任教授)
- 講演 3 「若年のつどい“陽溜まりの会” 本人からのメッセージ 15:20～

資料代 500円

申込み・問合せ 公益社団法人 認知症の人と家族の会 広島県支部
 TEL 082-254-2740 / FAX 082-256-5009
 名前・住所・電話番号をご記入の上、FAXでお申込みください。お待ちしております！



一人で悩まない、抱え込まない、どんな事でもお気軽にご相談ください
 若年性や高齢者の認知症介護相談など ※ 秘密は保持します

広島市認知症コールセンター<広島市委託事業>	毎週 月曜日・水曜日 12時～16時 ☎ 082-254-3821
「家族の会 事務所」認知症介護相談 (来所相談も)	毎週 月・水・金曜日 10時～16時 ☎ 082-254-2740
認知症相談<広島県地域包括ケア推進センター委託>	毎週 火曜日 13時～16時30分 ☎ 082-553-5353

オレンジリング・イベント

もっと知ろう、もっと語ろう！

世界アルツハイマーデー 記念講演会 in 庄原市

広島県委託事業

— 庄原グランドホテルにて —

2023 年 11 月 11 日

基調講演「最新の認知症治療とケア」

講師：山下 拓史 医師 広島市北部認知症疾患医療センター センター長
広島市安佐北区認知症初期集中支援チーム チーム長
広島市立北部医療センター安佐市民病院 脳神経内科主任部長



認知症は、一度正常に発達した認知機能が、後天的な脳の障害によって持続的に低下し、日常生活や社会生活に支障をきたすようになった状態で、日本人の要介護原因の第 1 位の疾患です。MCI（軽度認知障害）は正常と認知症の中間の状態であり、アルツハイマー型認知症を発症する前の MCI は、様々な条件を満たせば新薬レカネマブによる治療が可能です。近年、認知症の正確な診断のために核医学検査が用いられており、アルツハイマー型認知症や前頭側頭型認知症には脳血流シンチ、レビー小体型認知症には DAT スキャンや MIBG 心筋シンチが有用です。今後は、アルツハイマー型認知症の早期診断に有用なアミロイド PET が期待されます。

広島市立北部医療センター安佐市民病院は、広島県内で 11 番目、広島市内で 3 番目の認知症疾患医療センターに指定されました。2023 年 10 月から運営を開始し、かかりつけ医（開業医など）、介護サービス事業所、地域包括支援センターと連携しながら、認知症の診断と治療、認知症の方の身体の合併症や行動・心理症状への対応、専門医療相談などを行っています。認知症について学ぶ市民講座での講演などを含め、認知症の人と家族のために地域に根ざした活動をこれから行っていきたいと考えています。



取組紹介 1 「認知症疾患医療センターの紹介と取り組み」

講師：伊藤 聖 医師 広島県認知症疾患医療センター センター長
三次神経内科クリニック花の里 院長

今回は貴重なお話を本当にありがとうございました。講演してくださいました山下先生の言葉全てが私の胸にストレートにしみる言葉であり、励みとなりました。今回の講演で強く感じたことが三つあります。

一つ目は、認知症医療の最前線での環境がとても温かいものであるということです。特に若年性のご家族のお話からは先生への信頼を感じました。様々なことをご家族の方、介護者の方と乗り越えて生活をなさっている様子を語っていただくとそこには、真の家族のあり方を感じずにはいられませんでした。ご家族の方と壇上で講演していただいた様子には胸が熱くなる思いでした。

二つ目は、医療の限界です。当院でも認知症疾患医療センターとして診療をしていますが、根治できない認知症医療の現状に悔しさを覚えました。しかし医療とは、患者様の生活の質の向上のために最高の技術をもってその方の家族の方たちと共に歩んでいくものだと思います。地域で生活なさっていても安心できるようなサポートのことなど認知症の方の言葉を真摯に受け取り、認知症の方とそのご家族の方、そして医療スタッフが一丸となって医療を作っていく必要性を強く感じました。